

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29	下肢筋力の低下により日常に外出できず、楽しみや気分転換の機会が少ない。	地域住民やボランティアの来荘で楽しく充実した生活を送る。 下肢筋力の維持を図る。	・今まで来てくださっていた近隣のボランティアの方々には今後も定期的に来荘していただく。 ・看護師資格のあるボランティアさんには機能訓練を指導いただき、職員が実施することで筋力維持に努める。	12ヶ月
2	38	一人ひとりのADLや認知症状が違うため、共同生活をしていても、同様のサービスを提供することが難しい。	一人ひとりの体調を考慮しながら個々にそくした生活ができるようにする。	・本人の思いや要望をくみ取り、喜ばれるサービスを提供する。 ・個別に墓参りや散歩を兼ねた買い物をしたり、ゲームを一緒におこなったり、傾聴することで寄り添い楽しく過ごせるようする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。